

関釜フェリーのなぞ

～下関港と自動車工業とのつながりとは？～

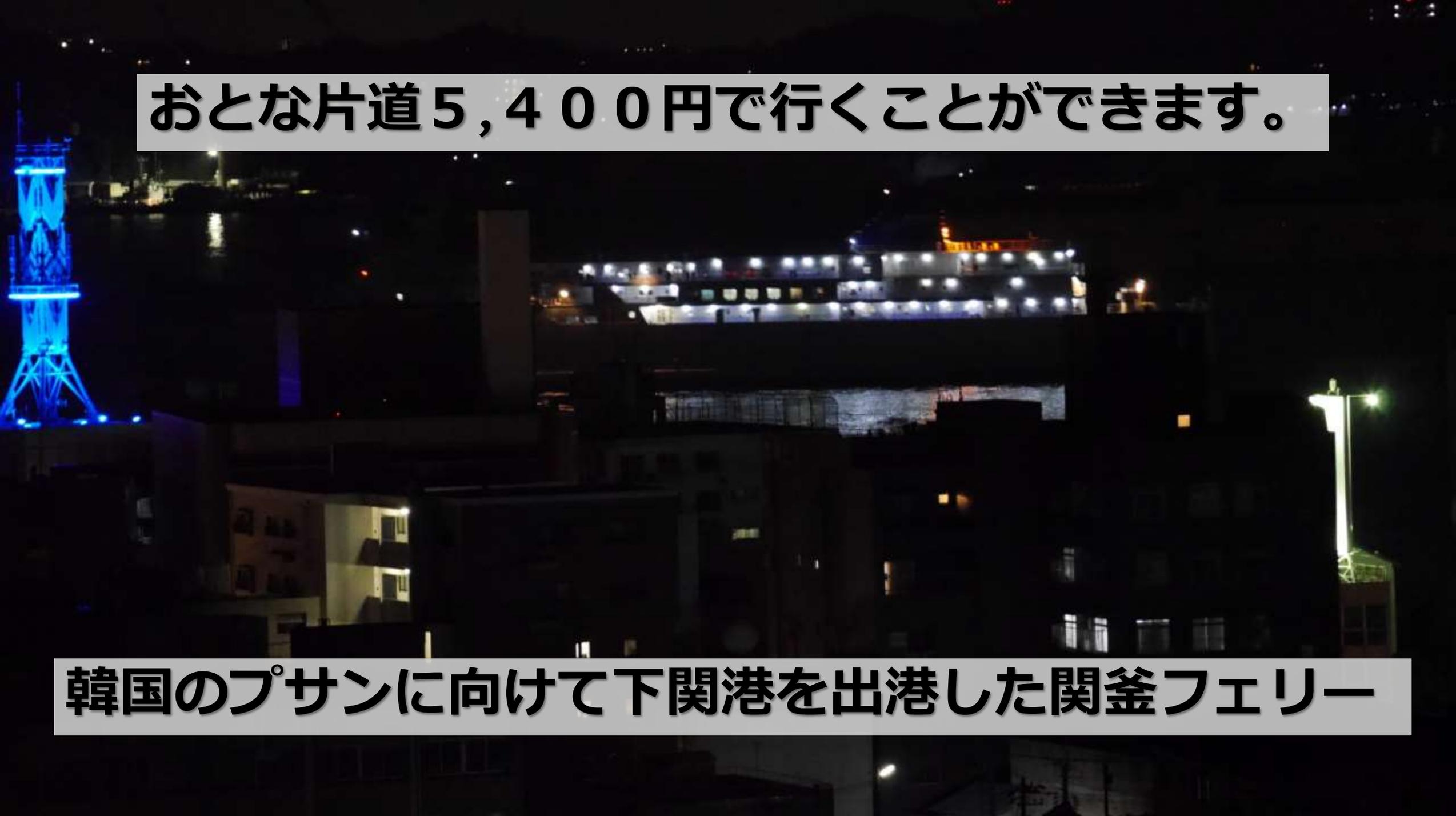


**ここは、下関駅近くにある下関港国際ターミナルです。
毎朝、韓国のプサンから関釜フェリーが入港します。**



**ここで問題。この関釜フェリーを使うと、
韓国まで片道いくらで行けるでしょう？**





おとな片道5,400円で行くことができます。

韓国のプサンに向けて下関港を出港した関釜フェリー

中国行きフェリー
『ゆうとぴあ4』

韓国行き
関釜フェリー
『はまゆう』





日本国内から集められた貨物を韓国へ輸出するための荷役作業をしています。

**ふだんは入れない日本と韓国の
輸出入の貨物を積むエリアへ！**





人の大きさと比べると、巨大な空間であることがよく分かります。天井までの高さは何と6m！



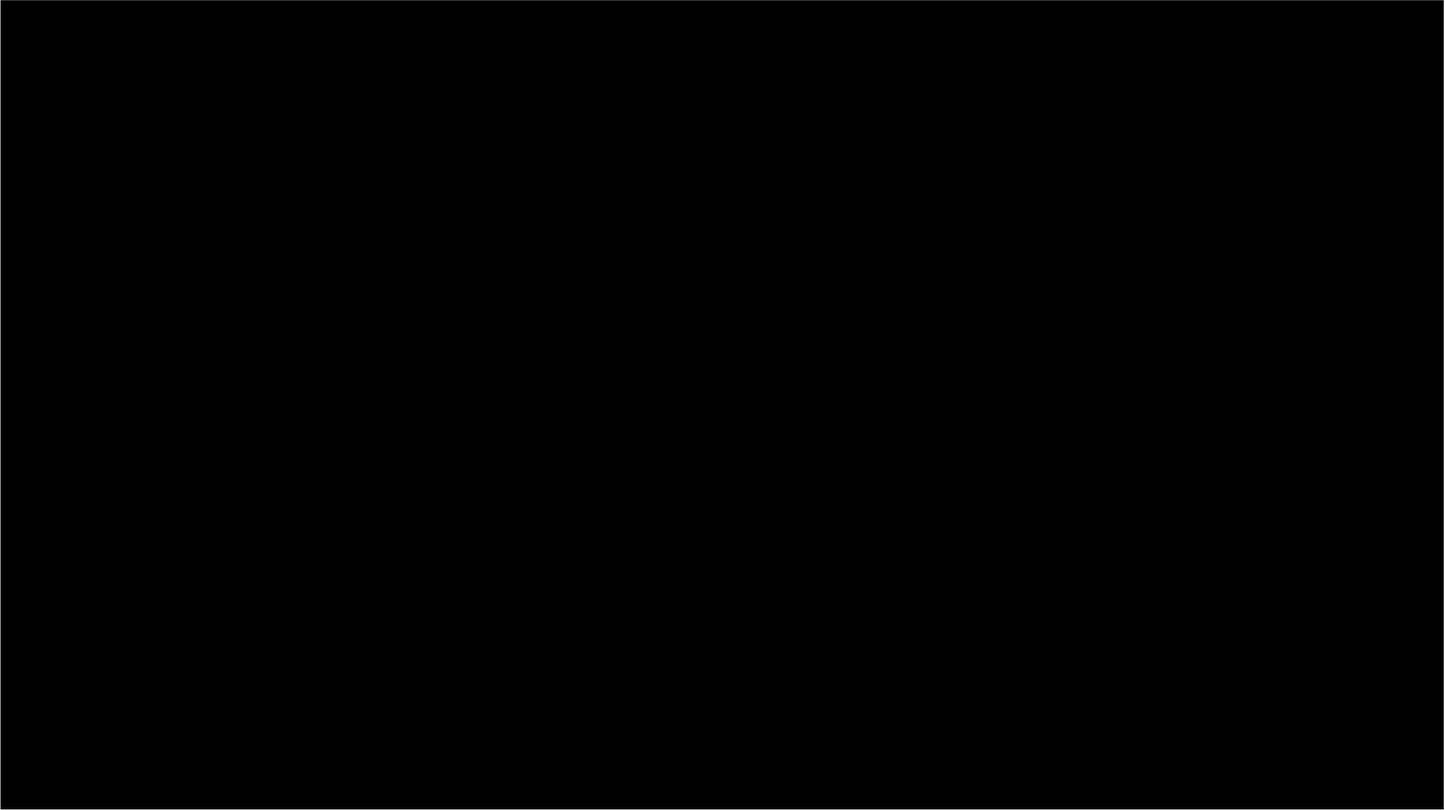
長さは120m以上！いつも輸出入の貨物でいっぱいになります。日産自動車が、韓国から日本へ自動車部品を輸入しているそうです。



さらに地下へ続く通路を発見！

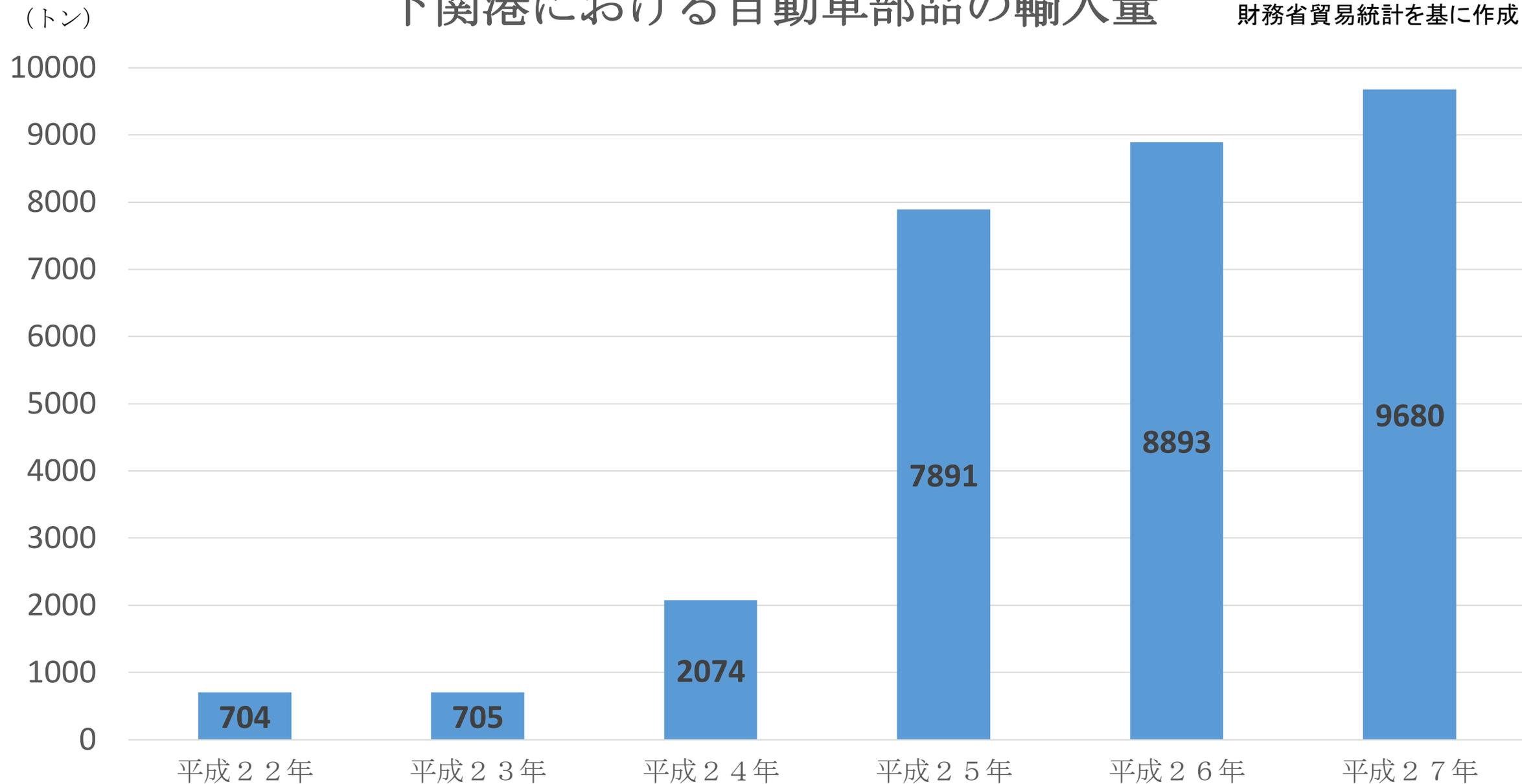


**実は、自動車を運ぶためのスペースでした。
30台近くの自動車を運ぶことができるそうです。
トヨタ自動車は、日本国内で作った高級車などをこのフェリーを使って韓国へ輸出しています。**



下関港における自動車部品の輸入量

財務省貿易統計を基に作成



関釜フェリーを使って 輸出入されているもの

輸出（日本⇨韓国）

- ・ **自動車（昨年約5000台）**
- ・ **テレビやスマホの部品**
- ・ **ホタテなど**



輸入（韓国⇨日本）

- ・ **自動車部品（昨年約1万トン）**
- ・ **観光バス（多いときで月10台）**
- ・ **パプリカ、なし、なす、切り花など**
- ・ **冷とうマグロ、アワビ、アサリなど**



**関釜フェリーのなぞについて分かった
ことを、仲間と伝え合おう！**

